

経営比較分析表（令和4年度決算）

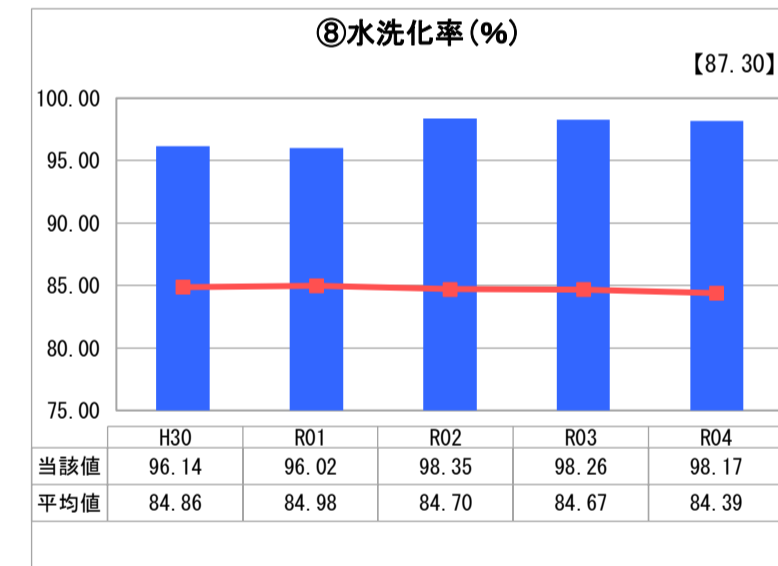
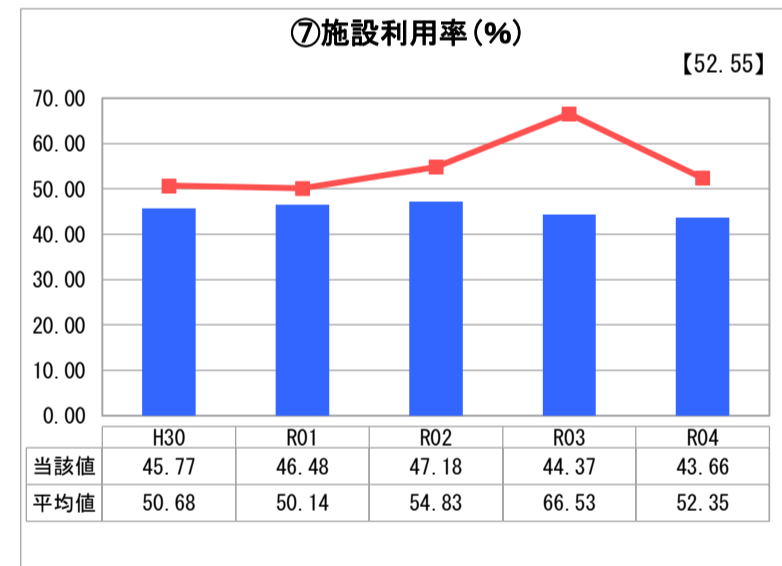
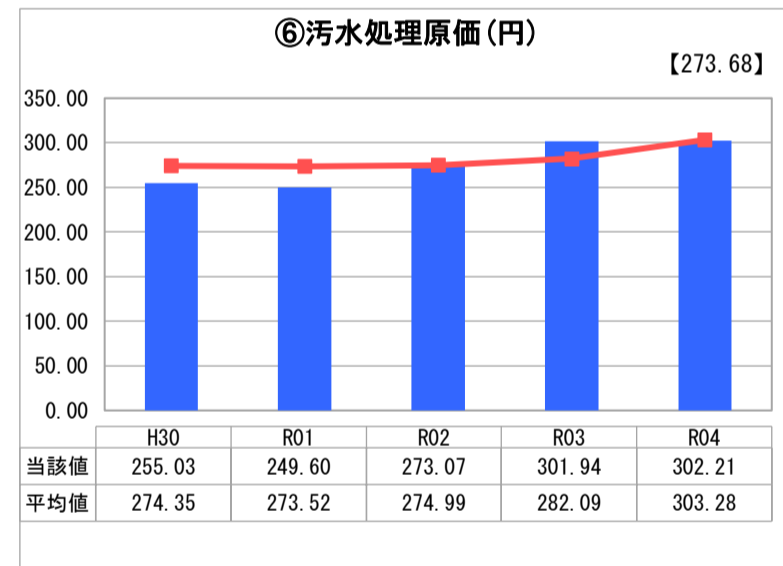
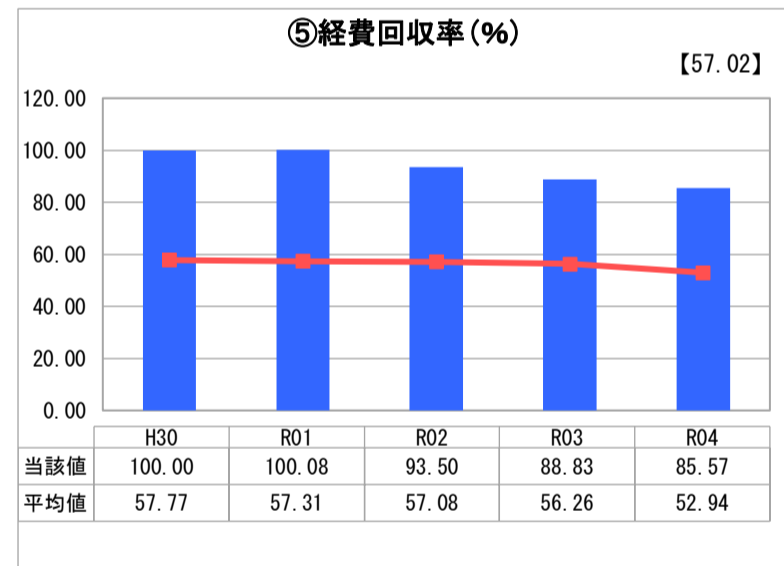
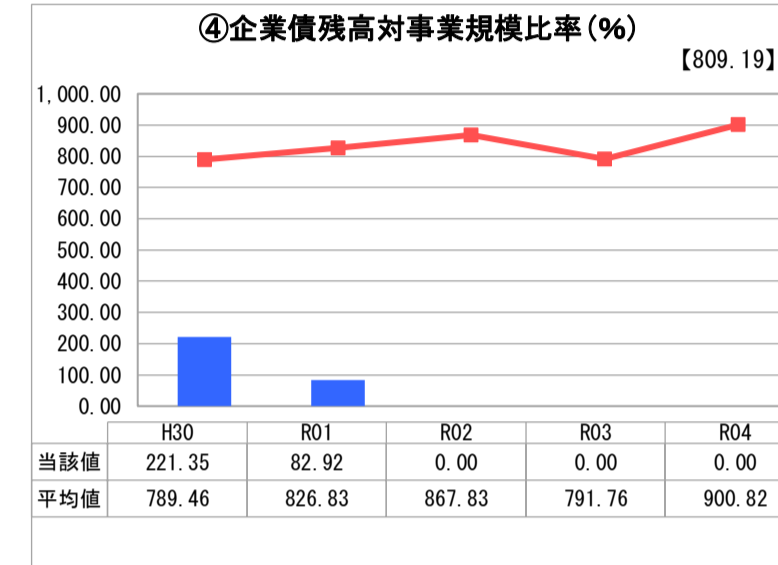
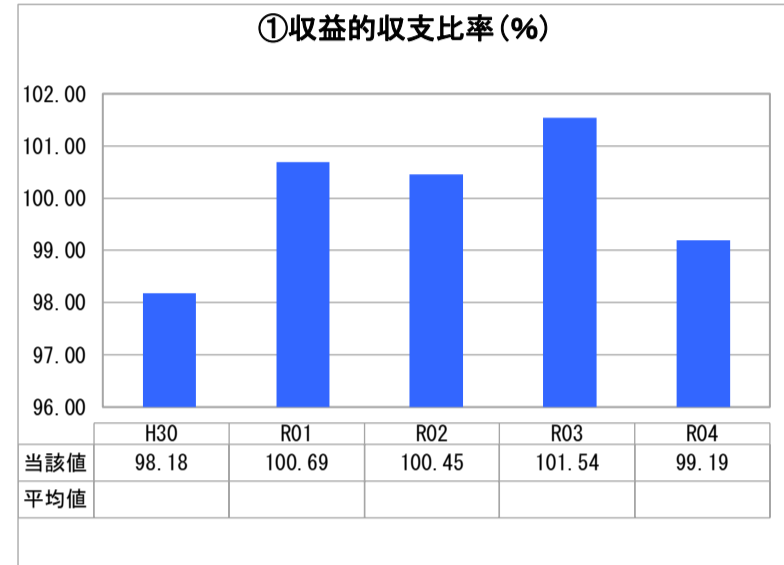
宮崎県 日之影町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	6.17	100.00	3,352

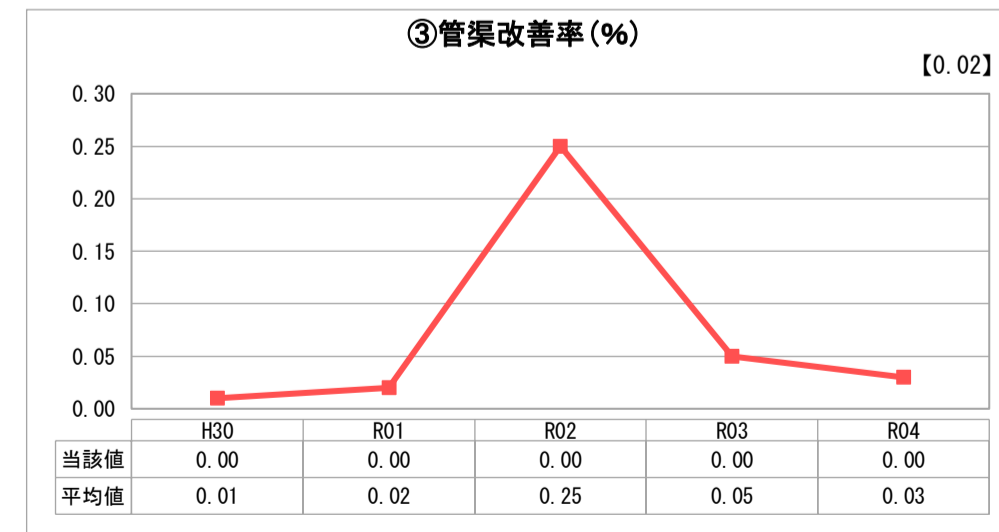
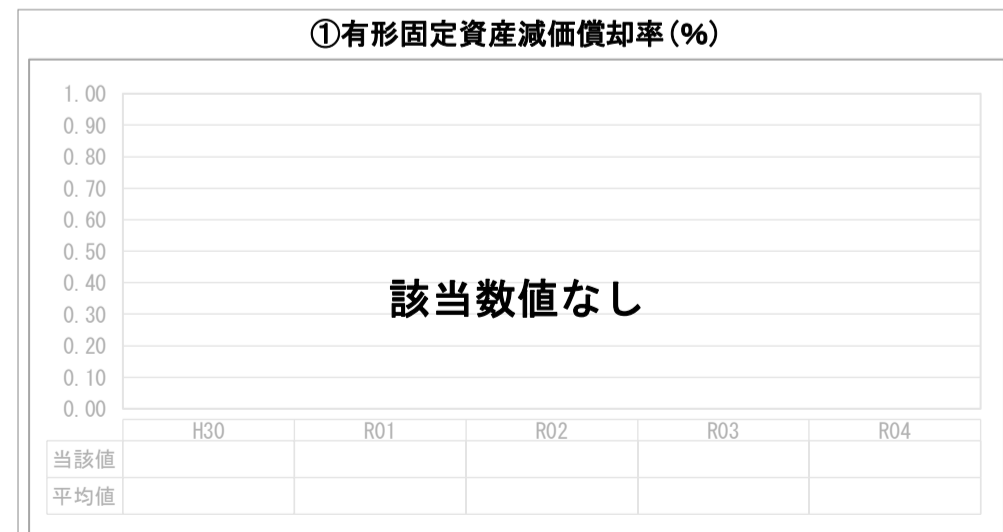
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
3,592	277.67	12.94
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
218	0.12	1,816.67

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【】	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本町の農業集落排水事業は、比較的小規模な施設のため、少数の利用者の増減、維持費の増減が各比率に大きく反映される。収益的収支比率は前年度と比較すると減少はしたものの、100%前後の水準で推移している。経費回収率は引き続き減少傾向だが、経営の健全性は概ね確保できている。

企業債残高対事業規模比率は生じていないが、企業債残高の全てを一般会計に依存しているような状況から、自立性の高い経営見直しが求められる。経費回収率は100%を下回っているが、施設の維持費用については概ね料金収入で賄えている状況である。だが、企業債償還については一般会計からの繰入による事業運営となっている。

施設利用率については、平均値を下回る状況であり、前年度よりも低下する状態が続いているが、過疎化、高齢化等による人口減少のためと予想される。

水洗化率は全国平均を上回り、類似団体と比べても高い水準にあり、今後も普及促進等を行い、水洗化率の向上を図りたい。

料金については、水道使用料と併せて将来的には改定を検討する必要があると思われる。

2. 老朽化の状況について

施設運用開始から20年以上が経過し、中継ポンプや処理場等の設備更新の時期が近くなっている。中継ポンプについては予備のポンプを準備し、故障した際にはすぐに対応できるよう準備は整えているが、その他の故障等についてはその都度修繕の対応をしている。

今後各設備の更新時期を迎えてくるが、平成30年から令和元年にかけて行った機能診断による最適化構想を元に事業計画等を策定し、それをもとに設備の更新や整備を行っていく必要がある。

全体総括

地形的要因などにより中継ポンプ等の設備投資が多い施設であるが、これからも経営の健全性を保つために、経営戦略の改訂を行うとともに、今後の処理区域内人口の減少を見据え、維持管理費に見合った料金改定や設備の更新、整備等を計画的に検討していきたい。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。